

科目	目的・目標	内 容	単位 (時間)	方法	進度
生活再構築を支える実習Ⅰ (慢性期)	<p><目的> 長期的に治療を要する対象及びその家族を理解し、セルフケアに向けた看護の方法を展開する能力を養う。</p> <p><目標> Ⅰ. 健康問題にある対象を身体的・精神的・社会的側面から理解する。 Ⅱ. 健康問題が対象の生活、対象をとりまく社会にどのような影響を及ぼしているか理解する。 Ⅲ. 健康問題にある対象の個別性のある看護を展開する。 Ⅳ. 対象の意思決定に基づいたセルフケア構築のための看護が提供できる。 Ⅴ. 保健医療チームの一員として看護職者の役割を理解する。 Ⅵ. 実習にふさわしい学習態度がとれる。 Ⅶ. 実習を振り返り自己の看護に対する考えをまとめる。</p>	<p>【回復期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 回復過程にある対象及び家族の反応を理解する。 対象の回復促進、二次障害の予防に促す看護を提供する。 <p>【慢性期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 長期にわたり治療・ケアを必要とする対象及び家族を理解する。 セルフケア行動確立を促す看護の方法を考える。 対象への援助を通して健康教育の必要性を理解する。 対象に必要な情報を収集・整理・分析し、看護上の問題を明らかにする。 問題を解決するために必要な援助を計画・実施・評価・修正する。 関連部門・多職種との連携・調整の必要性を理解する。 保健医療チームにおける看護職者の役割を理解する。 	2 90	<p>【臨地】</p> <p>場所：星総合病院</p> <p>期間：9日間</p> <p>形態：1G 4名程度</p> <ul style="list-style-type: none"> 成人・老年期の回復期・慢性期にある対象を受け持つ。 カンファレンスを実施し、対象の個別性に応じた看護の理解を深める。 	2年次 後期